

京都ではどこに行きますか？

☆ねらい

不定詞の2つの用法（名詞的用法、副詞的用法）を使っての会話文を6文以上書ける。

☆扱う場面

- ・学年 2年
- ・「不定詞」を学習した後の最後の自己表現活動
- ・所要時間 1時間（事前に自主研修の計画作成が終わっていること）

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① ビンゴゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行先の京都をイメージさせるいくつかの Key Word を使ってビンゴゲームをさせる。
② 不定詞を使って、表にある目的地ごとの英文の空欄を埋める。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を参考に、4つの目的地に行く「目的」と「理由」の英文の空欄を埋めさせる。 ・自主研修の目的地によって文の変更や単語の変更が可能であることを知らせる。
③ ②の英文を使ってペアで会話をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけんをして勝った人にA、負けた人にBを担当させる。 ・対話文のAの英文は固定して、Bは②での答えを参考にして英問英答に慣れさせる。 ・ペアを変えて何度か練習をさせる。
④ ③の会話文を参考にして、自分の行きたい場所の英文を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・③で使用した対話文の形式で、実際に自分の行きたい場所2か所に関する英文を作らせる。答えの文は②での答え方を参考にして、自分らしい文を作るよう励ます。 ・支援を必要とする生徒は、②の答えの部分の単語を入れ替えるだけで良いことを知らせる。 ・質問の文を書かせることで、質問の仕方を身に付けさせる。